

国土交通事務次官 藤井 直樹 様

要 望 書

令和5年1月26日

北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会

北陸新幹線は、大雨等の災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすとともに、高速交通体系の中軸として日本海国土軸の形成に必要な不可欠な国家プロジェクトであります。また、国内の快適かつ安定的な移動を実現し、交流人口拡大や移住定住促進など地方創生に寄与する重要な交通インフラであります。

本市としては、そうした北陸新幹線の開業効果を高め、地域の活性化に着実に結びつけていくことが最も重要と考えております。

つきましては、次の項目について、特段の御配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 着実な敦賀開業と早期の全線開業について

金沢・敦賀間については、工事工程や事業費の管理を徹底し、令和6年春の敦賀開業を確実に実現すること。また、敦賀・大阪間については、必要な建設財源の確保を図るとともに、敦賀開業後、切れ目のない整備により、一日も早い全線開業を実現すること。

2 新幹線駅前広場の同時開業について

新たに整備される敦賀駅東口（やまなみ口）に接する新幹線駅前広場については、インターチェンジや国道バイパスにも近く、広域交通の拠点機能も担っていることから、新幹線開業と同時に駅前広場も供用開始できるよう、最大限協力すること。

3 敦賀開業後の利便性確保について

敦賀駅までの北陸新幹線の運行本数は金沢駅と同数程度とするとともに、関西・中京方面と接続する特急の本数を確保するなど、利便性の向上に努めること。

令和5年1月26日

北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会

会長（敦賀市長） 渕上隆信

